

7. 地方からの便り

「女性防火クラブ」が結成されました。

新潟県 見附市消防本部

「女性防火クラブ」が結成されました。
新潟県の中央部に位置する見附市は、昨年7月の水害、10月の地震と二度の激甚災害に見舞われました。その際、全国の婦人防火クラブ等の皆様から、多大なご支援をいただきましたこと、心からお礼申し上げます。お蔭様で当市の災害復旧は順調に進み、被害の爪痕も少なくなってきました。
そのような中で、このたび、地域の防火・防災のために一役買おうと、太田町に女性防火クラブ（通称「さくらクラブ」）が結成されました。平均年齢37歳の若いお母さんたちは、さくら色のポロシャツを揃え、防火・防災教育の普及はもちろんのこと、救急講習等にも積極的に取り組み、地域に溶け込んだ活動を図りたいと意欲を見せており、地域の住民からも、今後の活躍が期待されています。



▲ このページの上に戻る

AED講習会を開催（島根県消防学校）

島根県 島根県消防学校

去る5月23日（月）島根県消防学校において、初任教育の学生43名と校長以下職員も対象にしたAED（自動体外式除細動器）講習会を実施しました。
この講習会は、AEDの普及・啓発と救急現場での円滑な使用を目的に、消防学校の初任教育に初めて取り入れたものです。講習会では、まず教官がAEDの使用方法を説明した後、5、6人のグループに分かれて訓練用AEDとダミーを使って実習を行いました。最後に想定を与え効果測定を行い、講習修了者には、修了証を交付しました。



▲ このページの上に戻る

防災講演会

福岡県 八女消防本部

八女地区防災協会（会長 鶴 勝年）では、平成17年6月14日（火）、防災講演会を開催した。

講演会は、行政情報化推進アドバイザーとして活躍中の狭間進氏を講師に迎え「地域再生について」と題して防災協会員、行政関係者などを対象に行った。

狭間氏は、講演で地域再生とは、自主的・自発的な取り組みにより、地域経済の活性化、地域の雇用機会の創出及び地域活力の再生を推進する事ができる。

個性豊かで活力に満ちた地域社会を実現し、住民経済の健全な発展及び生活の向上に寄与することができると、地域再生事業に取り組んでいる団体の事例を紹介しながら講演を行った。



[▲ このページの上に戻る](#)

応急手当普及員講習AEDを用いて実施!

福岡県 八女消防本部

八女消防本部では、平成16年7月から医師や救急救命士の専門職以外の一般市民でも救命処置のためであればAED（自動体外式除細動器）を使用することが可能となり、消防団員や一般事業所等を対象にAEDを用いた応急手当普及員講習を実施した。

受講者は、突然心臓が止まった傷病者（心室細動）の命を救うために、いかに早く電気ショックを与えるか実際にAEDを操作し、救命率の向上を図るため真剣に取り組んでいました。



[▲ このページの上に戻る](#)

「幼年消防クラブ」は、幼児教育期に正しい火の取扱いを教えながら、火遊びや火災の防止に努め、また消防の仕事に対する理解を深めて、社会人になってからも火災予防の考え方をしっかり持ってもらうことを目的としています。

（アンパンマンの防火寸劇）

若手消防署員が、アンパンマンに扮しての防火寸劇。園児たちは歓声をあげ、夢中になってみていました。



（消防資機材の展示）

消防署員が、実際の消防活動で使用する資機材を説明しながら展示しました。



このつどいを通し、幼年クラブ員は、「火は怖いもの、でも大切なもの。上手に火を使うことが大切だね。」との声が聞かれました。

今回学んだ火災予防の知識を今後も持ちつづけ、健全に成長して欲しいです。

[このページの上に戻る](#)

本会は地域の県内のクラブ員相互の連絡提携の緊密化及び親睦を図り、もって火災予防思想の普及に寄与し、災害のない魅力ある郷土づくりに資することを目的として設置され、平成17年4月現在で206クラブ、4万3千人余りのクラブ員を擁する大きな広がりをもった組織となっています。

17年度の総会には、各地域の代表者等延べ250名が出席し、消防学校1日体験入校の開催等の事業計画が承認されたほか、当協議会の発展に寄与し防火思想の普及に功績のあった個人や団体に感謝状、表彰状が贈呈されました。

その後の記念講演では、富山県国際健康プラザ健康スタジアム館長で医学博士の永田晟(あきら)氏に、地域のためアクティブに活動するクラブ員にとって重要な健康管理について講演していただきました。

その他、住宅用火災警報器設置義務化の概要についての説明も行われました。



倉岳保育所・苓陽幼稚園幼年消防クラブ入部式

熊本県 天草広域連合消防本部

倉岳町の倉岳保育所・苓陽幼稚園幼年消防クラブでは5月31日入部式が行われた。式には春木消防団長をはじめ関係者ら多数が出席、クラブ員紹介の後、委員長が元気な声で防火の誓いを述べると、クラブ員たちは大きな声でひとつひとつ復唱し防火を誓った。また関係者から励ましの言葉をいただくとクラブ員たちは、真剣なまなざしで聞き入っていた。

式終了後にはクラブ員たちが楽しみにしていた、倉岳分遣所職員扮する2人のマジシャンがペットのラッキー君と突如現れ、高度なマジックを披露、クラブ員たちは大歓声をあげて大喜びし、一役人気者となった2人のマジシャンとラッキー君、マジックが終了してもクラブ員たちが取り囲み、いつまでも別れを惜んでいた。



設立20周年記念式典が盛大に挙行される

茨城県 水海道市婦人防火クラブ連絡協議会

水海道市婦人防火クラブ連絡協議会（茨城県水海道市、吉田静江会長）は6月19日、設立20周年記念式典を開催しました。

式典では特別表彰に続き遠藤市長、鈴木市議会議長の挨拶、更に婦人防火クラブ員の代表者から安全で安心な地域社会の実現を目指す決意宣言が読み上げられました。

最後に「防火・防災 消防活動に携わって」をテーマに千葉県婦人防火クラブ連絡協議会会長竹内久子氏の防災講演会を実施し式典を締めくくりました。

竹内氏は、先の新潟県中越地震の発災直後に小千谷地域婦人防火クラブの要請に応え、炊き出しの支援にかけつけました。

災害現場にたどりつくのも困難な中で早朝から昼食もとらずに1万個を越えるおにぎりの製作に携わった経験や避難所の状況など貴重な体験談をお話しされ、地域の防火・防災には、婦



人防火クラブの果たす役割が重要であると訴え、会場のクラブ員代表者は熱心に聞き入っておりました。



[▲ このページの上に戻る](#)

目次

- [1. 東海地震、東南海・南海地震に係る地震防災対策計画の作成状況調査](#)
- [2. 住宅防火プロジェクトチーム会議の開催](#)
- [3. 住宅用火災警報器の普及促進用CMとPRハンドブックの紹介（消防の動きより）](#)
- [4. 平成16年1月～12月における火災の状況、平成17年1月～3月における火災の概要](#)
- [5. 平成17年度北陸・中部ブロック婦人防火クラブ連絡協議会幹部地域研修会](#)
- [6. 平成17年度安全功労者表彰](#)
7. 地方からの便り
- [8. あなたも危険物取扱者・消防設備士](#)
- [9. 日本防火協会からのお知らせ](#)